臨床と企業の
想いを形に
医療現場から生まれた

寄付先医療機関募集中

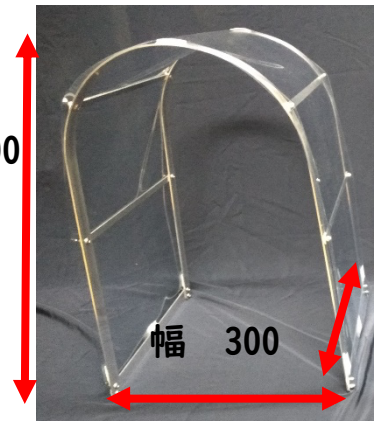
一人でも多くの患者さんを助けるために、医療従事者を守る

飛沫飛散防止シールドを医療機関へ届けたい

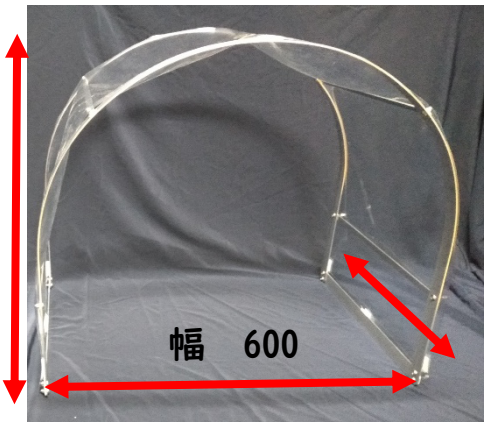
挿管・抜管時、搬送時、集中治療室、オペ室、病棟、内視鏡室等

ストレッチャータイプ

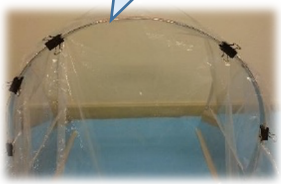
高さ400のタイプ



集中治療室・オペ室など



市販のビニール袋やCアームカバーなどを使用（低コストでビニールは廃棄できる）



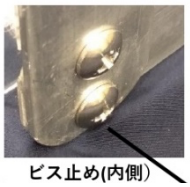
クリップで固定するとずれません

クラウドファンディングへの寄付はコチラから

みらいメドテック
https://ikou-funding.com/project/onece_1/

シールドの寄付を希望する医療機関はコチラ

- 本製品は医療用補助具です。
- ビニールをクリップで留めたり、Cアームカバーを取り付けたり、手が入るように穴をあけて使用してください。
- 製品の上に物を置かないでください。
- 使用時はネジのゆるみを確認してください。
- 使用前・使用後は消毒をお願いします。
- ネジを外すと、コンパクトに収納できます。



ビス止め(内側)

クラウドファンディングに協力していただいている下記のものづくり企業さんから、製品をお送りいたします。
製品の仕様が若干異なることがあります。

（株）大門
（有）案浦製作所
りびんぐラボ大正

～飛沫飛散防止のためのシールド（VH シールド）の医療機関への無料配布のお知らせ～

第一波の収束も束の間、COVID－19 は新たなフェーズに突入したと感じている医療者も多いのではないでしょうか？しかし、COVID－19 に関する認識の差や対策が十分ではないうちに感染者が増加している状況で、各医療機関におきまして非常に難しい判断に迫られているのではなかと思います。

私たち OneCE コロナ対策プロジェクトは、臨床工学技士が中心となった有志の集まりです。第一波の中、最前線の情報が出にくい状況、エビデンスもガイドラインもない状況で、医療従事者向けの COVID－19 感染対策セミナーを数多く開催してきました。
その中で、医療従事者が COVID－19 陽性患者及び、グレーゾーンの患者さんに接する時の対応（PPE やフェイスシールドでは防ぎきれない飛沫飛散）や咳嗽をあびてしまう精神的ストレスに関して、軽減する方法がないかと考えておりました。その時に、自治医科大学附属さいたま医療センターの百瀬 直樹氏より、患者さんからの直接の飛沫飛散から医療者を守るシールドを作成したとの話を聞きました。
臨床の声から試行錯誤を重ねること 10 回。畑のビニールハウスをヒントに作成した、軽くて丈夫、モディファイしやすい飛沫飛散防止シールド（ビニールハウスシールド、通称 VH シールド）です。
私たちは先月より、クラウドファンディングで支援を募り医療機関へ無料でこの VH シールドを届けるための活動を行っています。それと同時に VH シールドの寄付を希望する医療機関を募集しております。
患者さんからの直接の飛沫飛散から医療者を守る手段として、また、**もしもの時の想定を院内で検討するきっかけ**に、この VH シールドを活用していただけたらと思います。あらゆる場面を想定し、準備、対策をすることは院内において臨床工学技士の重要な役わりのひとつだと思っています。お守りとして持っておくだけに越したことはないですが、感染対策の一つとして必要とする施設には提供できるよう今後も支援を募り、できるだけ早急に医療機関へ無料で寄付を行いたいと思っています。

・VH シールドの寄付を希望する御施設の方は、こちらにご記入ください。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfiVFNhTK_kams4R8-FdBJHrBiZDha3fijJJFcEc-4QKNSvYQ/viewform?usp=pp_url

・VH シールドの誕生秘話と使用法等はこちらから
https://ikou-funding.com/project/onece_1/

OneCE コロナ対策プロジェクト
臨床工学技士100人カイギ
（株）iDevice 木戸悠人（CE）
Kiwi 大石杏衣（CE）
未来医療ファンディング＆マネジメント